

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 計画

学校名		佐賀市立勸興小学校																																		
1 前年度 評価結果の概要		○校内研に熱心に取り組む、国語科を中心に児童が主体的に学ぶ指導法について理解が進んできている。 ○異学年交流を効果的に設定し、コロナ禍にあっても児童同士の関わりは深まった。また、いじめ問題に対し、複数の職員による組織的対応（早期発見・早期解決）がなされている。 ○「勸興」の誇りを学ぶ発達段階に応じた学習やふるさとをより良くしていこうとする「市民性」の学習が十分とは言えない。 ○自立を目標とした教職員の指導方針に成果が表れ、援助要請や自己決定できる児童が増えてきている。 ○教職員の働き方改革については改善は見られるものの、時間外業務時間は45時間を超えている。																																		
2 学校教育目標		ふるさと勸興を誇りに 個性と創造性に富む子どもの育成 ～勸興魂「勉強はベストをつくし 運動ははたかたになるまで」を校是として～																																		
3 本年度の重点目標		○学力向上の推進…「自分で問いをもち、学び続ける児童」つきたい力を明確にした授業、 価値ある家庭学習への転換 ○豊かな心の育成…「多様性を受け入れられる子ども」市民性を育む教育の推進、多様な人 （価値）との出逢いの促進 ○特別支援教育の充実…「自分らしさを誇り、自立へ向かう子ども」アセスメントの徹底、 個に応じた指導の充実、自立活動の充実																																		
4 重点取組内容・成果指標																																				
(1)共通評価項目																																				
<table><tr><th colspan="3">重点取組</th><th rowspan="2">具体的取組</th></tr><tr><th>評価項目</th><th>取組内容</th><th>成果指標 (数値目標)</th></tr><tr><td rowspan="2">●学力の向上</td><td>●現行学習指導要領の理念の具現化に向けた授業改善</td><td>○単元終末時の振り返りで、本単元で身につけた力を明確に説明できる児童が70%以上 ●マイプラン達成教師70%以上</td><td rowspan="2">○全教科・全領域において「単元計画・学習課題」の授業実践(1回) ○公開授業後の研究会実施(100%) ○GIGAタイム・すくすくタイムの確実な実施 ○Eコネットを参考にしたミニ研の実施(1学年ずつ発表、年6回)</td></tr><tr><td>○一人一台のタブレットを有効活用した授業実践</td><td>○「各学年で身につける操作スキル」当該学年の技能習得の達成 80% ○プログラミング教育全体計画の当該学年の指導内容の履修100%</td></tr><tr><td rowspan="3">●心の教育</td><td>●児童生徒が自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動</td><td>○多様な人物や価値観との出会いから、自分事としての振り返りができる児童80%</td><td rowspan="3">○多様な人物や価値観との出会いを教育課程に位置づけ、価値ある発問により学びを作る(瑞宝太鼓・Felixや授業のゲストティーチャー等) ○確実でいいアンケートの対応→学年での対応及び管理職への報告 ○全校朝会で全職員によるいじめ防止劇の実施 ○児童が地域を学ぶ場、児童の地域における活躍の場、「出番・役割・承認」の場を各学期に1回以上、教育課程に位置づける ◎「勸興読本」「さがの人物探検99」の活用</td></tr><tr><td>●いじめの早期発見、早期対応体制の充実</td><td>○「先生は困ったときに相談にのってくれる」と回答する児童が80%以上</td></tr><tr><td>◎ふるさと勸興を誇りに、自分の夢や目標について考える教育の推進</td><td>◎「勸興の良さ」を1つ以上回答できる1～3年生、「勸興を誇りに思う」と回答する4～6年生が80%以上</td></tr><tr><td rowspan="2">●健康・体づくり</td><td>①運動習慣の改善や定着</td><td>①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒90%以上</td><td rowspan="2">○徒歩通学の価値づけ及び奨励・PTA総会・全校朝会で啓発 ・学校だより・保健だより・学級だよりで発信(それぞれ1回以上) ・学級懇談時などでの協力依頼 ○運動の重要性の啓発 ・保健だよりで啓発 ○情報モラル等の問題を取り上げた学級指導を教育課程に位置付け実施する ○学級だよりで、保護者に諸問題に関する情報を提供し、啓発をする</td></tr><tr><td>○ゲーム・インターネット・SNSの節度ある適切な使用</td><td>○端末を利用する約束を守っていると回答する保護者の割合が80%以上</td></tr><tr><td rowspan="2">●業務改善・教職員の働き方改革の推進</td><td>●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減</td><td>●超過勤務時間が月45時間以内の職員80%以上</td><td rowspan="2">○業務の効率化アイデアの共有 ○18時以降の電話の禁止 ○提出期限ボードの活用 ○i-schoolの活用 ○安全点検の際に安全の視点とは別に整理整頓の視点で評価を行い、室管理者の声かけで即時の改善を図る。</td></tr><tr><td>○探さない・切らさない・ためない整理整頓</td><td>○各箇所の整理整頓評価をA以上にする。(S・A・B・C・D)の5段階評価</td></tr></table>				重点取組			具体的取組	評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	●学力の向上	●現行学習指導要領の理念の具現化に向けた授業改善	○単元終末時の振り返りで、本単元で身につけた力を明確に説明できる児童が70%以上 ●マイプラン達成教師70%以上	○全教科・全領域において「単元計画・学習課題」の授業実践(1回) ○公開授業後の研究会実施(100%) ○GIGAタイム・すくすくタイムの確実な実施 ○Eコネットを参考にしたミニ研の実施(1学年ずつ発表、年6回)	○一人一台のタブレットを有効活用した授業実践	○「各学年で身につける操作スキル」当該学年の技能習得の達成 80% ○プログラミング教育全体計画の当該学年の指導内容の履修100%	●心の教育	●児童生徒が自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○多様な人物や価値観との出会いから、自分事としての振り返りができる児童80%	○多様な人物や価値観との出会いを教育課程に位置づけ、価値ある発問により学びを作る(瑞宝太鼓・Felixや授業のゲストティーチャー等) ○確実でいいアンケートの対応→学年での対応及び管理職への報告 ○全校朝会で全職員によるいじめ防止劇の実施 ○児童が地域を学ぶ場、児童の地域における活躍の場、「出番・役割・承認」の場を各学期に1回以上、教育課程に位置づける ◎「勸興読本」「さがの人物探検99」の活用	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「先生は困ったときに相談にのってくれる」と回答する児童が80%以上	◎ふるさと勸興を誇りに、自分の夢や目標について考える教育の推進	◎「勸興の良さ」を1つ以上回答できる1～3年生、「勸興を誇りに思う」と回答する4～6年生が80%以上	●健康・体づくり	①運動習慣の改善や定着	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒90%以上	○徒歩通学の価値づけ及び奨励・PTA総会・全校朝会で啓発 ・学校だより・保健だより・学級だよりで発信(それぞれ1回以上) ・学級懇談時などでの協力依頼 ○運動の重要性の啓発 ・保健だよりで啓発 ○情報モラル等の問題を取り上げた学級指導を教育課程に位置付け実施する ○学級だよりで、保護者に諸問題に関する情報を提供し、啓発をする	○ゲーム・インターネット・SNSの節度ある適切な使用	○端末を利用する約束を守っていると回答する保護者の割合が80%以上	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●超過勤務時間が月45時間以内の職員80%以上	○業務の効率化アイデアの共有 ○18時以降の電話の禁止 ○提出期限ボードの活用 ○i-schoolの活用 ○安全点検の際に安全の視点とは別に整理整頓の視点で評価を行い、室管理者の声かけで即時の改善を図る。	○探さない・切らさない・ためない整理整頓	○各箇所の整理整頓評価をA以上にする。(S・A・B・C・D)の5段階評価
重点取組			具体的取組																																	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)																																		
●学力の向上	●現行学習指導要領の理念の具現化に向けた授業改善	○単元終末時の振り返りで、本単元で身につけた力を明確に説明できる児童が70%以上 ●マイプラン達成教師70%以上	○全教科・全領域において「単元計画・学習課題」の授業実践(1回) ○公開授業後の研究会実施(100%) ○GIGAタイム・すくすくタイムの確実な実施 ○Eコネットを参考にしたミニ研の実施(1学年ずつ発表、年6回)																																	
	○一人一台のタブレットを有効活用した授業実践	○「各学年で身につける操作スキル」当該学年の技能習得の達成 80% ○プログラミング教育全体計画の当該学年の指導内容の履修100%																																		
●心の教育	●児童生徒が自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○多様な人物や価値観との出会いから、自分事としての振り返りができる児童80%	○多様な人物や価値観との出会いを教育課程に位置づけ、価値ある発問により学びを作る(瑞宝太鼓・Felixや授業のゲストティーチャー等) ○確実でいいアンケートの対応→学年での対応及び管理職への報告 ○全校朝会で全職員によるいじめ防止劇の実施 ○児童が地域を学ぶ場、児童の地域における活躍の場、「出番・役割・承認」の場を各学期に1回以上、教育課程に位置づける ◎「勸興読本」「さがの人物探検99」の活用																																	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「先生は困ったときに相談にのってくれる」と回答する児童が80%以上																																		
	◎ふるさと勸興を誇りに、自分の夢や目標について考える教育の推進	◎「勸興の良さ」を1つ以上回答できる1～3年生、「勸興を誇りに思う」と回答する4～6年生が80%以上																																		
●健康・体づくり	①運動習慣の改善や定着	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒90%以上	○徒歩通学の価値づけ及び奨励・PTA総会・全校朝会で啓発 ・学校だより・保健だより・学級だよりで発信(それぞれ1回以上) ・学級懇談時などでの協力依頼 ○運動の重要性の啓発 ・保健だよりで啓発 ○情報モラル等の問題を取り上げた学級指導を教育課程に位置付け実施する ○学級だよりで、保護者に諸問題に関する情報を提供し、啓発をする																																	
	○ゲーム・インターネット・SNSの節度ある適切な使用	○端末を利用する約束を守っていると回答する保護者の割合が80%以上																																		
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●超過勤務時間が月45時間以内の職員80%以上	○業務の効率化アイデアの共有 ○18時以降の電話の禁止 ○提出期限ボードの活用 ○i-schoolの活用 ○安全点検の際に安全の視点とは別に整理整頓の視点で評価を行い、室管理者の声かけで即時の改善を図る。																																	
	○探さない・切らさない・ためない整理整頓	○各箇所の整理整頓評価をA以上にする。(S・A・B・C・D)の5段階評価																																		
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目																																				
<table><tr><th colspan="3">重点取組</th><th rowspan="2">具体的取組</th></tr><tr><th>評価項目</th><th>重点取組内容</th><th>成果指標 (数値目標)</th></tr><tr><td>○特別支援教育</td><td>○「エンパワメントの尊重」を基本理念とした対人援助の理解 ○必要な児童の「個別の指導計画」の効果的な運用</td><td>○対人援助の理解に関する自己評価80% ○「個別の指導計画」を有効に活用したと回答する職員80%</td><td>○対人援助に関するミニ研の実施 ○自立に関するミニ研の実施 ○アセスメントに基づく児童理解の徹底 ○「個別の指導計画」等の記録を活用した児童面談や保護者面談の実施</td></tr></table>				重点取組			具体的取組	評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	○特別支援教育	○「エンパワメントの尊重」を基本理念とした対人援助の理解 ○必要な児童の「個別の指導計画」の効果的な運用	○対人援助の理解に関する自己評価80% ○「個別の指導計画」を有効に活用したと回答する職員80%	○対人援助に関するミニ研の実施 ○自立に関するミニ研の実施 ○アセスメントに基づく児童理解の徹底 ○「個別の指導計画」等の記録を活用した児童面談や保護者面談の実施																						
重点取組			具体的取組																																	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)																																		
○特別支援教育	○「エンパワメントの尊重」を基本理念とした対人援助の理解 ○必要な児童の「個別の指導計画」の効果的な運用	○対人援助の理解に関する自己評価80% ○「個別の指導計画」を有効に活用したと回答する職員80%	○対人援助に関するミニ研の実施 ○自立に関するミニ研の実施 ○アセスメントに基づく児童理解の徹底 ○「個別の指導計画」等の記録を活用した児童面談や保護者面談の実施																																	
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育																																				